

1. 1. 10 その他の浮魚類

担当者 調査研究部 田中 伸幸

(1) 目的

オホーツク海網走支庁管内沿岸域に來遊する浮魚類（ニシン、サンマ、イワシ類、イカ類、サバ類）の資源解析と漁況予測に必要な基礎資料を得るため、漁獲の実態と漁獲物の生物学的な特徴を把握し、資料を蓄積する。

(2) 経過の概要

スルメイカの漁獲量を集計し、釧路水試に送付した。

網走漁協の沿岸刺し網からニシン漁獲物標本を採集し、精密測定を行った後、データを稚内水試に送付した。また、紋別漁協の底建て網と網走漁協の沖合い底曳き網で漁獲されたスルメイカから標本を採集し、釧路水試に送付した。なお、サンマ、マイワシ及びマサバは漁獲がほとんどなく標本採集できなかった。

8月に留辺蘂町温根湯で開催されたオホーツク海さんま漁業調整協議会総会に出席し、釧路水試とともに平成18年度のサンマ調査状況について報告した。

(3) 得られた結果

結果については、ニシンに関しては稚内水産試験場「平成19年度事業報告書」、その他の魚種については釧路水産試験場「平成19年度事業報告書」の該当する項目に掲載される予定であるため、ここでの記載は省略する。

また、平成20年度以降、網走水試の浮魚類対応は国費予算である「資源評価調査」のみとなるため、今後のその他浮魚類に関する報告は「資源評価調査」の項に記載する。